

### 米国連邦巡回区控訴裁判所(CAFC)による相互関税および中国、メキシコ、カナダに対する国別関税に関する判決

2025 年 9 月 3 日

#### In brief

2025 年 8 月 29 日、米国連邦巡回区控訴裁判所(U.S.Court of Appeals for the Federal Circuit :以下、CAFC)は、米国政府が課した相互関税および中国、メキシコ、カナダに課した国別関税に関して、米国大統領は国際緊急経済権限法(International Emergency Economic Powers Act :以下、IEEPA)に基づき、国家非常事態を理由として輸入品に対し広範かつ無期限の関税を課す権限を有しないとの判決を下しました<sup>1</sup>。この判決は、米国のほぼすべての貿易相手国からの輸入品に対して広範な関税を課す 5 つの大統領令が、大統領の法的権限を超えているとした下級裁判所の判決を支持しました。

#### In detail

##### ・判決の概要

本判決は、IEEPA を根拠に大統領がほぼすべての国からの輸入品に対し、期間や範囲に制限のない関税を課すことの是非について判断したものです。裁判所は、IEEPA が大統領に「輸入の規制」を認めているものの、その権限には本件のような大規模かつ無制限の関税賦課は含まれないと判断しました。

なお、本判決は IEEPA を根拠とする全ての関税について判断したのではなく、あくまでも本件関税に限定したものです。また、米国通商拡大法 232 条や 301 条等その他の法令を根拠とする関税には影響しません。

##### ・即時的な影響

本判決では大統領令に基づく相互関税および国別関税は無効であると結論づけています。一方で、下級審がトランプ政権に対し関税徴収の停止を命じた差止命令については承認せず、下級裁判所に差し戻しました。<sup>2</sup>CAFC

<sup>1</sup> [https://cdn.patentlyo.com/media/2025/08/25-1812.OPINION.8-29-2025\\_25661511.pdf?\\_gl=1\\*cmfn7q\\*\\_ga\\*MzMxMTU5NzI0LjE3NTY3OTA5NTE.\\*\\_ga\\_G57FX3W4N3\\*czE3NTY3OTA5NTAkzEkZzAkdDE3NTY3OTA5NTAkajYwJGwwJGgw](https://cdn.patentlyo.com/media/2025/08/25-1812.OPINION.8-29-2025_25661511.pdf?_gl=1*cmfn7q*_ga*MzMxMTU5NzI0LjE3NTY3OTA5NTE.*_ga_G57FX3W4N3*czE3NTY3OTA5NTAkzEkZzAkdDE3NTY3OTA5NTAkajYwJGwwJGgw)

<sup>2</sup> [https://www.cafc.uscourts.gov/opinions-orders/25-1812.ORDER.8-29-2025\\_2566157.pdf](https://www.cafc.uscourts.gov/opinions-orders/25-1812.ORDER.8-29-2025_2566157.pdf)

の命令に基づき、政府が最高裁判所に上訴するための時間を確保するため、現行の関税は2025年10月14日まで有効となります。したがって米国の輸入者は、少なくともその日までは引き続き相互関税をはじめとするIEEPAに対する関税を支払い続けることになり、場合によっては最高裁判所の判断が下されるまでこれらの関税は効力を有する可能性もあります。

#### •法的な不確実性

今後、IEEPAに基づく広範な関税賦課の試みは、深刻な法的障壁に直面すると予想されます。ただし、米国最高裁判所への上訴は可能であるほか、他の法的手段による関税賦課の可能性も残されています。

#### •他の関税への影響はなし

米国通商拡大法232条(自動車、鉄鋼、アルミニウム、銅)や米国通商拡大法301条に基づく他の関税は、本判決の影響を受けず、引き続き有効です。また、現在調査中の医薬品、半導体等に対する関税は米国通商拡大法232条を根拠としているため、これらの関税の結果に対して本判決の結果は基本的に影響が無いものと考えられます。

#### •救済措置および還付に関して

CAFCは関税の無効性を認識したものの、差止命令の範囲については更なる審理のため差し戻しました。下級裁判所はCAFCの指摘を踏まえ、速やかに対応するものと見込まれますが、既に支払った関税の還付やその他の救済措置の手続きは未確定です。

#### •上告の可能性

今後、トランプ政権が本判決を最高裁判所に上告する可能性が高いとみられています。仮に下級裁判所が新たな差止命令を発出した場合でも、最高裁が新たな差止命令を発出し、関税徴収が継続される可能性があります。

### The takeaway

本判決は米国の輸入業者にとって大きな展開ではありますが、問題は解決していません。最高裁は上告審で本判決を覆す可能性もあります。また、米国通商拡大法232条や301条等の他の法的根拠を用いて関税が再導入される可能性があります。その場合、これらの法的要件を満たすための修正が必要となるでしょう。

企業は、米国関税の影響を評価するため、直近および今後の輸入状況を継続的に確認し、救済措置や施行の変更の可能性がないか、今後の米国政府の政策動向を注視する必要があります。当社の見解では、本判決に影響を受けない関税も含め、何らかの関税措置が、今後も米国との貿易に影響を与え続ける可能性が高いと考えます。

### References

1. Katzmman, Judge Timothy M. Reif. \_\_\_\_\_ Decided: August 29, 2025  
\_\_\_\_\_  
NEAL KUMAR KATYAL, Milbank LLP, Washington, DC, argued for plaintiffs-appellees V.O.S. Selections, Inc., Plastic Services and Products, LLC, MicroKits, LLC, FishUSA Inc., Terry Precision Cycling LLC. Also represented by SAMANTHA KINSELLA ILAGAN, COLLEEN ROH SINZDAK; PAUL 2 V.O.S. SELECTIONS, INC. v. TRUMP Case: 25-1812 Document: 159 Page: 2 Filed: 08/29/2025 HAROLD, STEFFEN NATHANAEEL JOHNSON, Wilson, Sonsini, Goodrich & Rosati, PC, Washington, DC; MICHAEL W. MCCONNELL, Palo Alto, CA; JAMES J. MCQUAID, Liberty Justice Center, Arlington Heights, IL; JEFFREY MICHAEL SCHWAB, REILLY STEPHENS, Austin, TX. BENJAMIN N. (25-1812.OPINION.8-29-2025\_2566151.pdf, Page 1)
2. Case: 25-1812 Document: 159 Page: 4 Filed: 08/29/2025 The Government appeals a decision of the Court of International Trade setting aside five Executive Orders that imposed tariffs of unlimited duration on nearly all goods from nearly every country in the world, holding that the tariffs were not

authorized by the International Emergency Economic Powers Act (IEEPA), 50 U.S.C. § 1701 et seq... (25-1812.OPINION.8-29-2025\_2566151.pdf, Page 4)

3. Emergencies. In re- sponse to these declared emergencies, the President has departed from the established tariff schedules and imposed varying tariffs of unlimited duration on imports of nearly all goods from nearly every country with which the United States conducts trade. This appeal concerns Five Executive Orders imposing duties on foreign trading partners to ad- dress these emergencies: Executive Orders Nos. 14193, 14194, 14195, 14257, and 14266 (hereinafter collectively referred to as the Challenged Executive Orders). We sum- marize the history of the Challenged Executive Orders by first discussing the national emergencies in response to which they were (25-1812.OPINION.8-29-2025\_2566151.pdf, Page 4)
4. Be- cause we agree that IEEPA's grant of presidential author- ity to "regulate" imports does not authorize the tariffs imposed by the Executive Orders, we affirm. I A This case involves the extent of the President's author- ity under IEEPA to "regulate" importation in response to a national emergency declared by the President. For many years, Congress has carefully constructed tariff schedules which provide for, in great detail, the tariffs to be imposed on particular goods. Since taking office, President Donald J. Trump has declared several national emergencies. In re- sponse to these declared emergencies, the President has (25-1812.OPINION.8-29-2025\_2566151.pdf, Page 4)
5. State. 50 U.S.C. § 1702(a)(1)(B) (emphases added). The statute bestows significant authority on the Presi- dent to undertake a number of actions in response to a de- clared national emergency, but none of these actions explicitly include the power to impose tariffs, duties, or the 26 V.O.S. SELECTIONS, INC. v. TRUMP Case: 25-1812 Document: 159 Page: 26 Filed: 08/29/2025 12 like, or the power to tax. The Government locates that au- thority within the term "regulate . . . importation," but it is far from plain that "regulate... (25-1812.OPINION.8-29-2025\_2566151.pdf, Page 25)

## Let's talk

本判決が事業に与える影響や関税還付支援につきましては、当法人の貴社担当者または下記までお問い合わせください。

### PwC 関税貿易アドバイザー合同会社

〒100-0004 東京都千代田区大手町 1 丁目 2 番 1 号 Otemachi One タワー

Email: [jp\\_tax\\_pr-mbx@pwc.com](mailto:jp_tax_pr-mbx@pwc.com)

米国関税に関するアドバイザーサービス

<https://www.pwc.com/jp/ja/services/tax/customs/us-tariffs.html>

パートナー

Robert Olson

ディレクター

芦野 大

シニアマネージャー

濱田未央

## 過去のニュースレターのご案内

[過去のニュースレターを読む](#)

## ニュースレター配信のご案内

PwC Japan グループでは、会計基準や税制、法令等に関するニュースレターを発行しております。

[配信を登録する](#)

## e-learningのご案内

PwC 税理士法人は「Tax Academy」を開設し、国際税務領域の人材育成支援を目的とした e-learning コンテンツを 2022 年 10 月より配信しています。

「Tax Academy」のシリーズ講座は、日本企業が海外に事業展開する際に事前に検討すべき論点を網羅しているほか、当法人の国際税務領域における豊富な実務経験や、PwC グローバルネットワークを通じて得た知見を生かすことで広範囲な専門分野をカバーしています。各コースを通じて、国際税務を基礎から体系的に学びたい方や、企業の税務部門担当として国際税務の知識を身に付けてスキルアップしたい方をサポートします。詳細は以下をご参照ください。

[お申し込み・詳細](#)

PwC 税理士法人は、企業税務、国際ショナルタックス、M&A 税務、税務業務のデジタルトランスフォーメーション(DX)などを含む幅広い分野の税務コンサルティングにおいて、PwC グローバルネットワークと連携しながら、ワンストップでサービスを提供しています。国内外のプロフェッショナルの知見と経験を結集し、企業のビジネスパートナーとして重要な経営課題解決を包括的にサポートします。

PwC は、クライアントが複雑性を競争優位性へと転換できるよう、信頼の構築と変革を支援します。私たちは、テクノロジーを駆使し、人材を重視したネットワークとして、世界 149 カ国に 370,000 人以上のスタッフを擁しています。監査・保証、税務・法務、アドバイザーサービスなど、多岐にわたる分野で、クライアントが変革の推進力を生み出し、加速し、維持できるよう支援します。詳細は [www.pwc.com](http://www.pwc.com) をご覧ください。

本書は概略的な内容を紹介する目的のみで作成していますので、プロフェッショナルによるコンサルティングの代替となるものではありません。

© 2025 PwC Customs and Trade Advisory LLC. All rights reserved.

PwC refers to the PwC network member firms and/or their specified subsidiaries in Japan, and may sometimes refer to the PwC network. Each of such firms and subsidiaries is a separate legal entity. Please see [www.pwc.com/structure](http://www.pwc.com/structure) for further details.

This content is for general information purposes only, and should not be used as a substitute for consultation with professional advisors.